

06 防犯対策の推進

○防犯対策事業（02070501） 15,893千円（13,428千円） 予算書 P86

[一財：15,893千円]

(目的及び期待する効果)

守谷市防犯パトロール隊（関係機関及び各自治会等で編成）や防犯指導員（警察官OB）等による市内パトロールを強化し、啓発活動を行うことで、車両の盗難や車上荒らし、ニセ電話詐欺などの犯罪や事故を未然に防ぎ、安全で安心な地域社会づくりにつなげる。

(内容)

- 1 地域住民の防犯意識を高め、犯罪者を寄せつけない効果が期待できる防犯パトロール活動を地域内外に積極的にアピールすることで、犯罪の未然防止を図る。また、警察や関係団体とともに防犯活動への協力・啓発等を積極的に実施する。
- 2 青色防犯パトロール車（市公用車）の貸出しを積極的に行い、各自治会等による地域パトロール活動の指導、育成等の助言を行う。
- 3 安全で安心できる地域社会を築くため、引き続き地域安全・暴力追放市民大会を開催する。
- 4 防犯指導員（警察官OB）を任用し、青色防犯パトロール、防犯出前講座、その他防犯啓発活動を実施して、市内の刑法犯罪未然防止対策を図る。
- 5 防犯カメラの計画的な増設や、青色防犯パトロール車をはじめ、全公用車にドライブレコーダーを設置し、犯罪の未然防止を図る。



防犯カメラ

○街路灯維持管理事業（02070504） 68,310千円（64,713千円） 予算書 P87

[一財：68,310千円]

(目的及び期待する効果)

- 1 道路照明灯及び防犯灯
交通危険箇所（交差点及びカーブ等）に設置している道路照明灯を良好に維持管理するため修繕を実施し、交通事故防止及び安全確保を図る。また、老朽化による既存の防犯灯修繕工事（器具交換含む）等を行い、夜間犯罪の未然防止を図り、犯罪がない安全なまちづくりを目指す。
- 2 公園照明灯及び遊歩道灯
年間を通じ、公園照明灯及び遊歩道灯の修繕など適正な維持管理に努める。

(内容)

- | | |
|----------------|----------|
| 1 街路灯電気代 | 56,049千円 |
| 2 街路灯修繕料（球切れ等） | 12,261千円 |

○街路灯整備事業（02070505） 59,079千円（28,228千円） 予算書 P87

[その他：1,000千円 一財：58,079千円]

*その他積算根拠

[交通安全交付金：交通安全対策特別交付金 1,000千円]

(目的及び期待する効果)

- 1 道路照明灯及び防犯灯
交通危険箇所（交差点及びカーブ等）に道路照明灯を新設するとともに、既存施設を改修し適正に管理することにより、交通事故の未然防止と道路交通の円滑化を図る。
また、防犯灯のLED化計画を作成し、計画的な設置及び改修を実施することで、夜間犯罪の未然防止を図る。



LED防犯灯

(内容)

1 街路灯東電使用申込料	313 千円
2 道路照明灯設置工事	2,376 千円
3 守谷駅前街路灯改修工事	28,589 千円
4 防犯灯新設工事 (LED化)	13,512 千円
5 公園照明灯・遊歩道灯改修工事	14,289 千円

○消費生活相談事業 (07010301) 5,983 千円 (6,005 千円) 予算書 P164

[国・県：1,890 千円 一財：4,093 千円]

*国・県積算根拠

[県補：消費者行政推進交付金事業費補助金 1,890 千円]

(目的及び期待する効果)

市民からの消費生活に関する相談業務や、講座等を開催するなど、消費生活の啓発により、消費者の自立を目的とし、消費者トラブルの未然防止、拡大防止を図る。

(内容)

守谷市消費生活センターにおいて、消費生活相談員が週 5 日間 (月～金曜日)、市民からの電話若しくは来所に対応し、消費生活全般の相談を行う。また、消費者教育として市民に向けた消費生活講座を実施するとともに、より適切な助言や情報提供を行うために相談員の専門性を高めていく。